

結果報告_鮫川河口ナガエツルノゲイトウ小規模防除活動

1. はじめに

鮫川河口砂浜に定着した特定外来生物「ナガエツルノゲイトウ」の拡散防止と、いわき地域における継続的な管理体制の構築を目的に、当 NPO が中心となりいわき地域において初の小規模防除活動を実施した。本活動は植生保全と外来種の拡散抑制を目指し、現地調査や手作業除去、再発確認、モニタリングを行い、今後は地域や学校、研究機関との連携による市民参加型管理モデルの構築も目指すものである。

2. 実施方法

今回の防除は、2025 年 10 月 31 日に河口部右岸砂浜にて実施した。はじめに現地で作業内容や役割分担について打合せを行った後、作業に着手した。事前にマーキングした地点ごとにスマートフォンを用いた緯度・経度などの GPS 情報の取得、植生状況の写真撮影を行った後、スコップによる周囲の掘り起こしを行い、地下部を含めた本種の丁寧な採取を行った。採取した個体はブルーシート上に載せて茎本数または重量計測用試料とした。

作業体制は、1 班につき 4 名で編成し、2 班体制で地点ごとに効率的に除去作業を進めた。回収した除去物は土嚢袋に入れて重量計測を行った後、最終的に焼却処分とした。

今回の活動では、事前に地区行政区長への説明と海浜利用者への周知を目的とした看板の設置を行うとともに、当日は行政担当者として福島県いわき農林事務所およびいわき市役所の職員の現場立ち合い、河川一時使用許可をいただいた福島県いわき建設事務所からの立会いの下で実施した。

3. 実施結果

(1)着生状況

今回防除を行ったのは、図-1 に示す鮫川の河口部右岸の 18 地点（図-2 参照）であった。事前にマーキングを行った 17 地点（SKR-1～SKR-17）に加えて、防除作業中に確認した 1 地点（SKR-18）にて、緯度・経度、植生面積、写真撮影、他の植物の植生、漂着ごみなどを確認し記録簿に記入した。

他の植生が見られない砂地に本種のみが 1～2 本着生しているケース、コウボウムギやハマヒルガオなど他の植物に交じって着生しているケースが見られた。前者のケースは他の漂流ごみと一緒に存在し砂中に根を伸ばし着生している状態であり、周囲の砂の掘り起こしによって比較的容易に個体の回収が可能であった。後者のケースでは他の植物の根と絡み合っており本種のみでの採取にはとても苦労した。中には直径が 1～3m におよぶ大きな株となっている地点も数か所見られた。

採取個体量茎本数の計測が容易な場合は本数を、本数の計測が困難な場合は総重量を計測した。地点ごとの植生面積を計測した結果と併せて採取個体量を一覧にすると表-1 のようにまとめることができた。

(2)採取・回収作業

砂浜に着生しているナガエツルノゲイトウは、周囲をスコップで掘り起こしながら葉茎と地下部を同時に、できるだけ地下部が残らないよう採取を行った。しかし、面積が 1m²を超えるような株になっているよう地点では地下茎の末端などの取り残しは避けられなかった。特に、他の植物中に入り混じって着生している場合は、地下茎の区別が付きにくく本種の回収はだいぶ手間がかかる作業となった。また、本種は剪断に非常に弱く、引き抜き作業中に折れて小片化が頻繁に起こったことも作業の手間を大きくする原因となった。

採取個体は個体量計測のためにビニールシート上に一時置きしたが、これは結果的に小片の飛散防止にも役立った。砂地に本種のみが着生しているケースでは採取個体の判別は付きやすいが、他の植物と混生しているケースではビニールシートへの置き置きが効果的で

あった。処分のために袋詰めする際にも小片の飛散が防止できることにつながった。

4. 活動のまとめ

今回当 NPO としても初めてのナガエツルノゲイトウの防除活動を実施した成果は、スタッフ全員で本種の確認ができるようになったこと、本種の特徴や採取上の扱いが体験的に把握できたことではないかと思われる。また、上流域から流下して着生した本種の繁殖力の強さにも脅威を感じるとともに、飛散防止に向けた取組みの必要性を改めて再認識することができた。さらに、本種の防除作業をする上での配慮すべき事項や今後へ向けての改善すべき事項などを考える際の参考になった。

いわき市においては鮫川流域だけでなく、蛭田川流域でも本種の着生が確認されており、今後もこのような防除活動が望まれる。今回の活動における経験を活かしていきたい。



図-1 ナガエツルノゲイトウの防除対象地点

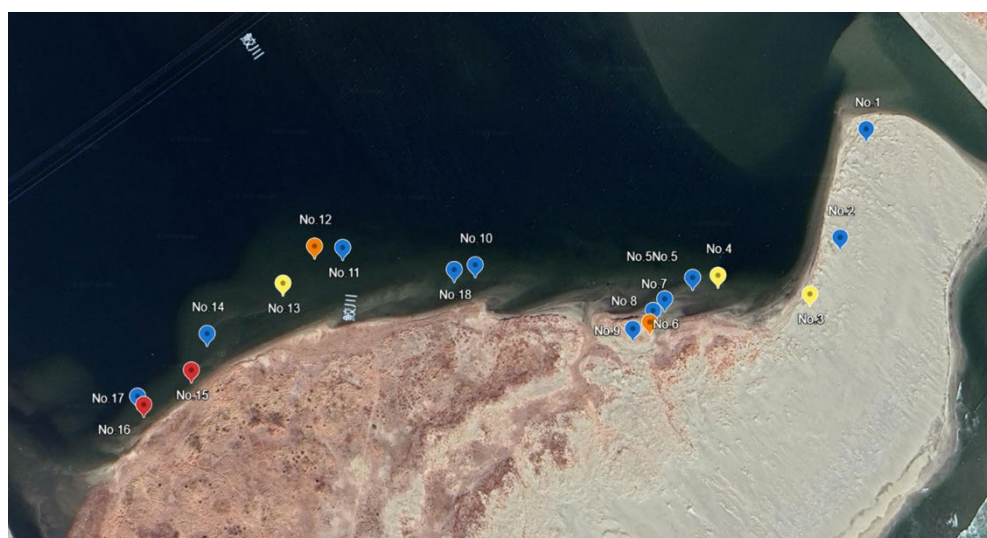


図-2 鮫川河口砂浜における防除地点

表-1 採取個体量の一覧

地点 No.	面積 (m ²)	採取量 (本)	重量 (kg)	他植物との混生
SKR-1	0.1	3		無し
SKR-2	4	7		無し
SKR-3	3	10		無し
SKR-4	1	21		混生
SKR-5	0.5	1		混生
SKR-6	1	2		混生
SKR-7	0.25	5		混生
SKR-8	1	60		混生
SKR-9	1	30		混生
SKR-10	0.1	1		混生
SKR-11	0.2	1		混生
SKR-12	0.5	50		混生
SKR-13	0.5	15		混生
SKR-14	4	5		混生
SKR-15	2	200	15.3	混生
SKR-16	9	300	18.4	無し
SKR-17	0.3	3		無し
SKR-18	0.5	2		混生



漂着した大量のナガエツルノゲイトウ



海浜植物中に着生している状況



ナガエツルノゲイトウ



大株の回収方針を話し合うスタッフ



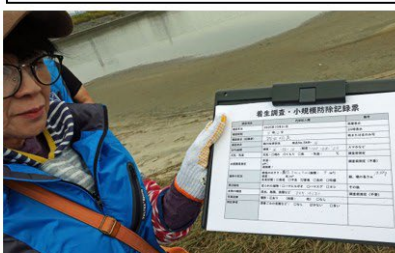
大株の周囲を掘削するスタッフ



砂浜に着生状況



回収したナガエツルノゲイトウ



防除を実施しながら着生状況を記録



土のう袋に回収して焼却処分

図-3 活動の状況（写真）